

議案第35号 附属資料

令和7年度

高野町一般会計補正予算（補正第3号）の概要

高野町

6月補正予算（一般会計補正第3号）のポイント

今回の補正予算は、当初予算編成後に生じた事由に加え、令和7年4月に採択された「交通空白」解消緊急対策事業の国庫補助事業の採択にあわせた事業費の調整を図ります。また、昨年度実施された定額減税に伴う不足額給付金事業や、学びの杜施設の運用開始に伴い、公共施設の適正管理を推進するための事業費等を盛り込んだ結果、予算規模は30,500千円の追加となり、補正後の予算額は4,253,600千円（前年度同期△28.9%）となりました。

★歳入の状況

新たに採択された「交通空白」解消緊急対策事業補助金7,200千円を計上したほか、不足額給付金事業に対する物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金9,750千円の計上や旧高野山中学校の除却事業に伴う公共施設等適正管理推進事業債8,400千円を計上しました。このほか、今回の予算編成で不足する額は前年度繰越金により補てんしました。

■分担金及び負担金

広域保育制度の利用により高野山こども園に他市町村の児童を受け入れるため、その保育費及び給食費の負担金4,207千円を計上しました。

■国県支出金

新たに採択された「交通空白」解消緊急対策事業補助金7,200千円、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金9,750千円、統計調査費県委託金14千円を計上しました。

■繰越金

今回の予算編成で不足する額は前年度繰越金829千円で補てんしました。

■諸収入

公共ライドシェア等を活用した公共交通実証実験事業に伴い、運賃収入100千円を計上しました。

■町債

旧高野山中学校の除却事業に対応する財源とした、公共施設等適正管理推進事業債8,400千円を計上しました。

★歳出の状況

当初予算編成後に生じた事由に加え、令和7年4月に採択された「交通空白」解消緊急対策事業の国庫補助事業の採択にあわせた事業費8,300千円を計上しました。また、昨年度実施された定額減税に伴う不足額給付事業11,723千円の計上や、旧高野山中学校除却に向けた調査結果を踏まえ、同施設の除却に向けた事業費9,416千円等を計上しました。

■総務費

<財産管理費>

(公共施設除却事業)

学びの杜施設の運用が開始され、旧教育施設の適正な管理を推進するため、旧高野山中学校解体工事実施設計業務委託料9,416千円を計上しました。

なお財源は、公共施設等適正管理推進事業債を活用します。

<企画費>

(行政秘書事業)

昨年度よりマンダラプロジェクトを中心に、地域住民や高野町の職人が協力して高野紙を使用したオブジェクトを制作している。完成した作品は、大阪・関西万博の関西パビリオンやイタリア館で展示する予定となっており、高野町の魅力を世界に発信するため、補助金500千円を計上しました。

(公共ライドシェア等を活用した公共交通実証実験事業)

交通空白地に居住する交通弱者等の交通手段の確保と日常生活の支援を図るため、町民のニーズを捉え、利便性の高い総合的な公共交通の在り方を検討するための実証実験事業費8,300千円を計上しました。

なお財源の一部は、「交通空白」解消緊急対策事業補助金を活用します。

<防災諸費>

(防災対策事業)

町が所有するドローンの機体を3年に1度の登録が必要なためドローン機体登録手数料1千円を計上しました。

<定額減税調整給付事業>

(定額減税不足額給付金事業)

令和6年度に実施した定額減税調整給付金事業の支給額に不足が生じる者等に対し、追加で給付金を支給するための事業費11,723千円を計上しました。

なお財源の一部は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用します。

<指定統計調査費>

(指定統計調査事業)

2025農林業センサスの残務処理に対応する事務経費14千円を計上しました。

なお財源は、全額県支出金です。

■消防費

<常備消防費>

(消防通信管理事業)

県が設置運営する防災情報システムで使用している無停電装置のバッテリー交換に伴う県総合防災情報システム運営負担金506千円を追加計上しました。

(消防職員教育事業)

日本臨床救急医学会学術集会において本町が取り組んでいる「急性期医療ICT連携ネットワーク事業」など最新の成果や知見を共有し、専門家間の交流を深め、より救急医療等の質向上や現場での救急救命のためになる技術の進歩に貢献するため参加する学会への旅費40千円を計上しました。